

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 27. 8. 5 第 189 回国会第 17 号

8 月 5 日（水）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

・ 下村文部科学大臣、遠藤国務大臣（東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 河野 一郎君

（質疑者及び主な質疑内容）

鈴木 義弘君（維新）

- ・ 平成24年7月、独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）に設置された国立競技場将来構想有識者会議（第2回）では競技場本体建設工事費（試算）が1,300億円程度であったが、平成25年11月の同会議（第4回）では改築工事費概算額が1,852億円と膨れ上がったことについて、議論にならなかったのか。また、同会議は工事費の策定について責任はないのか、下村大臣に伺いたい。
- ・ 新国立競技場整備計画の白紙撤回がされたが、新国立競技場を2020年大会の主会場とすることについては変更はないのか、遠藤国務大臣に伺いたい。また、今回の白紙撤回の事態を引き起こした責任について、下村大臣に伺いたい。
- ・ 新国立競技場の建設工事費が増大した理由として、建設関係者から、発注者による予算の積算が雑であること、設計コンペ段階でコスト意識が希薄であることなどが指摘されていることについて、遠藤国務大臣の見解を伺いたい。

初鹿 明博君（維新）

- ・ 児童生徒の水泳授業時等の紫外線対策の観点から、日焼け止め剤の使用等適切な措置をとるよう、文部科学省が教育委員会に対して指導を行う必要性について、下村大臣に伺いたい。
- ・ 国立競技場のある神宮外苑は風致地区であり、建築物には15メートルの高さ制限があったのに、新国立競技場整備計画に伴い高さ制限が緩和されたが、元に戻すべきではないか。
- ・ 新国立競技場整備計画の白紙撤回に伴い、JSC本部棟新営工事についても見直す必要があると思う。特に、本部棟に入居する宿泊施設である日本青年館の建替工事にスポーツ振興くじ（toto）の売上金を充てることは妥当ではないと思うが、下村大臣の見解を伺いたい。

柚木 道義君（民主）

- ・ 昨8月4日の参議院文教科学委員会において、下村大臣は、新国立競技場整備計画のこれまでの経緯を検証する文部科学省の第三者委員会の結論を受けてから、今後の「対応」を検討する旨答弁しているが、その「対応」には自らの辞任が含まれているのか確認したい。
- ・ 新国立競技場整備計画を白紙撤回し、見直すことが決定されたにもかかわらず、なぜ同計画に付随するJSC本部棟の建替えや都営霞ヶ丘アパートの取壊しの計画は見直されないのか、下村大臣の見解を伺いたい。
- ・ 国民が納得できる形で新国立競技場整備計画を進めるためにも、同競技場の総工費について一定の目安を示すことが必要だと考えるが、現在の検討状況を遠藤国務大臣に伺いたい。

笠 浩史君（民主）

- ・ 国立競技場将来構想有識者会議（第3回）の議事録について、JSCが、同資料を各委員の了解を得て部分開示から全面開示への変更を決定した後においても、文部科学省は、部分開示のまま同資料を配付していた理由について、下村大臣に伺いたい。
- ・ 公正に新国立競技場整備計画のこれまでの経緯を検証するためには、文部科学大臣も検証の対象者である以上、第三者委員会は、文部科学省の下ではなく、外部に設置する必要があると考えるが、下村大臣の見解を伺いたい。
- ・ 新国立競技場は、官主導ではなく、最初の段階から民間からの出資やアイデアを募るなどの方策も検討すべきだと考えるが、遠藤国務大臣の見解を伺いたい。

馳 浩君（自民）

- ・ 選手の要望が強い陸上競技のサブトラックを仮設でな

- ・ 常設の施設として整備することはできないのか。
- ・ J S Cは、新設されるスポーツ庁の下でスポーツ政策の実施を担うべきであり、箱物の整備はその業務から外す方が適当ではないか。
- ・ 競技力向上を目的とした文部科学省のマルチサポート事業で開発したトレーニング機器の効果を検証する必要性及び市販化の検討について、下村大臣の見解を伺いたい。

- ・ J S C本部棟の建替えの実施主体はJ S Cであり、その所管は文部科学省であるが、新国立競技場の整備計画に伴う建替えであることから、同建替えについても遠藤国土大臣に一任するべきであると考えているが、遠藤国土大臣の見解を伺いたい。

吉 田 宣 弘君 (公明)

- ・ 去る8月1日のI O C総会において、森組織委員長から新国立競技場の整備計画の白紙撤回についてどのような説明がされ、I O Cからどのような反応があったのか。また、新たな計画の策定から完成までのスケジュール感について、遠藤国土大臣に伺いたい。
- ・ 新国立競技場の整備計画の策定に当たっては、国民の声をしっかり聴く必要があるのではないか。
- ・ 「アスリートファーストの精神」、「バリアフリー化の円滑な実施」及び「セキュリティ面における万全な対策」を前提に、堅実な新国立競技場整備計画の策定と確実な実行に向けての遠藤国土大臣の決意を伺いたい。

宮 本 岳 志君 (共産)

- ・ オリンピック競技大会の運営経費の削減等を提言した国際オリンピック委員会の「オリンピック・アジェンダ2020」の趣旨に照らせば、新国立競技場整備計画の白紙撤回は、遅きに失したとはいえ当然であったと考えるが、遠藤国土大臣の見解を伺いたい。
- ・ 安倍内閣総理大臣が、去る7月17日に新国立競技場整備計画の白紙撤回を表明した際、1か月ほど前から見直しの検討を行っていたとの発言をしたが、検討を行った文部科学省の部局はどこか、下村大臣に伺いたい。
- ・ 去る7月9日にザハ・ハディド案でJ S Cが施工業者と工事契約を締結したことを踏まえれば、実際は、同計画の白紙撤回の1か月ほど前の時点では同計画の見直しの検討は行われていなかったのではないかと考えるが、下村大臣に確認したい。

吉 川 元君 (社民)

- ・ 新国立競技場整備計画を決定し、実施する権限と責任の所在について、下村大臣に伺いたい。
- ・ 文部科学省がJ S Cから本年2月の段階で、施工業者から新国立競技場の建設費が3,000億円を超過することや、工期が間に合わないことについての報告を受けていたにもかかわらず、大臣に報告しなかったことについて、下村大臣に確認したい。